

実施報告書【地域連携実践重点校用】

学校番号	24
学校名	富山県立新湊高等学校

重点課題	地域課題解決に向けた自治体や地域社会との協働活動による課題発見・解決能力の育成	
課題設定の趣旨	自治体や地域おこし協力隊との連携による地域活性化活動、芸術鑑賞会等の学校行事や地域ボランティア活動における地域社会との交流を通して、他者と協働的に関わりながら、主体的に行動できる人材の育成を目指す。	
中長期ビジョンを実現するための今後の重点事項	地域との連携を深化させるために、自治体や地域社会、産業界との連携を強化し、実践的な教育活動を通じて生徒たちの課題解決力とビジネス実践力を高め、協働探究活動の充実を図る。	
実施内容 (具体的に記入する)	<p>○地域連携による地域活性化活動として、10月26日～12月24日までの期間に「かわべの解放weekend」「竹あかり」の射水市イベント期間があり、それを利用して美術部員及び美術選択者による灯籠作品の展示を行った。また、9月28日、29日、10月19日の3日間、本校において地域住民を対象としたPC教室を商業科3年生が講師を務めて実施した。</p> <p>○地域交流として、10月16日高周波文化ホールを会場として本校芸術鑑賞会に射水市立新湊中学校の生徒や教職員と合同で鑑賞した。毎月の第3日曜日に行われている六渡寺海岸清掃にボランティアとして参加し地域の方々と交流した。</p> <p>○2学年普通科の生徒が「地域の課題を解決！」を共通テーマに新湊の魅力や地域課題について考え、解決に向けて取り組んだ。22のグループに分かれ、「総合的な探究の時間」を中心に、各グループで課題を設定し、自治体や地域の方々の協力を得ながら調査を行い実践するなどの活動を行った。3月16日にはクロスベイ新湊を会場として地元の名菓の委託販売やキッチンカーによる食のイベント「春湊フェス」を普通科2年生が企画し運営を実体験した。</p>	
取組の成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<p>○学習の場を地域に拡大させた実践的な学習は、生徒の経験の幅を広げ、生徒の協働性・主体性を涵養する。また、実際に地域社会に向かうことにより、地域活性化活動の必要性を強く感じて、地域社会に貢献したいという姿勢が多くの子供に見られるようになった。</p> <p>○地域に開かれたカリキュラム・マネジメントを展開することで、地域に根ざす学校として、地域の信頼を得ることが、生徒の地域愛を醸成することにつながる。地域連携事業として実施したPC教室では、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の受講者ニーズに対して応えることができ、満足感と達成感を生徒と地域住民が共に実感できた機会となった。</p> <p>○プロジェクト学習を通じて、生徒たちが他者と協力しながら学ぶ機会が増えた。これにより、コミュニケーション能力やチームワークの重要性を理解するようになり、協働学習の促進につながった。</p>	
対象者(学年・人数など)	全校生徒453名	
実施実績	4月	地域活性化活動(新湊を照らそう)、ボランティア活動における地域との交流
	5月	地域活性化活動(新湊を照らそう)、ボランティア活動における地域との交流、探究活動講演会(2年生)
	6月	地域活性化活動(新湊を照らそう)、ボランティア活動における地域との交流
	7月	地域活性化活動(新湊を照らそう、地域課題解決のためのフィールドワーク)、ボランティア活動における地域との交流
	8月	地域活性化活動(新湊を照らそう、地域課題解決のためのフィールドワーク)
	9月	地域活性化活動(PC教室)、ボランティア活動における地域との交流、探究活動講演会(1年生)
	10月	地域活性化活動(PC教室)、地域交流(芸術鑑賞会)、地域の課題解決の中間報告会、ボランティア活動における地域との交流
	11月	地域活性化活動(新湊を照らそう、地域課題解決のためのフィールドワーク)
	12月	地域活性化活動(新湊を照らそう、地域課題解決のためのフィールドワーク)
	1月	地域活性化活動(地域課題解決のためのフィールドワーク)
	2月	地域活性化活動、とやま探究フォーラム発表、射水市連携事業報告会、地域課題解決の最終報告会(2学年)
	3月	地域活性化活動(春湊フェス開催)、ボランティア活動における地域との交流